



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2006 10

Bulletin

2006. 10. 1. 発行
第24巻 第4号 通巻279号

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒614-8501 京都市伏見区西九条二丁目1番1号
TEL (075) 231-4388

THE SINGLE CLUB OF THE WORLD
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

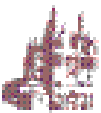
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1903

クラブ主題 の関係! — 横並びの「和・輪・環」 —

国際主題	「愛をもって積極参加」	"Active Participation with Love"	IF: 池田 博司 (博司)
アジア主題	「参画、そして感動を!」	"Participant and Inspiration"	AF: 池田 博司 (博司)
西日本区主題	「一人ぼしのために、みんなは一人ぼしに。」	"One for all, all for one"	RO: 木本 隆三 (木本隆三)
京都府主題	「百花繚乱 一京都部一」		OG: 土橋 隆二 (土橋隆二)
イベント主題	「ファミリーで参加しよう! アイスダム 世界の愛が見えてくる」		520: 400 祥子 (400祥子)

会長/大門 和彦
副会長/堀 永純 大
専務員 一
書記/山田 英樹
会計/香山 章彦



聖句 「それ(神の国)は、からし種に似ている。人がこれを取って庭に蒔くと、成長して木になり、その枝には空の鳥が巣を作る。」

(ルカによる福音書 13章19節)

無から有を生む

ファンド委員長 八木 悠 佑



秋涼の候、皆様いかがお過ごしでしょうか? 大門会長のもと2006年度が始まり、はや3ヶ月が過ぎました。大門会長よりファンド委員長を拝命し何も分からないままのスタートでしたが、多くの方にアドバイス、叱咤激励をいただきながら物販・飲み会ファンドを通

じ少しずつではありますが、目標の¥800,000に向かい邁進中でございます。

目標金額に加えまして、今期はファンドのルーツである「無から有を生む」という精神をモットーに活動していきたいと思っております。具体的には古切手回収BOXの復活やキャピタルファンドオークションを開催し、自分に要らないものを人の役に立てるといった共有の場を持ちたいと考えております。現在、オークション商品を随

時受け付けもいたしておりますので、どしどしご協力のほど宜しくお願いいたします。

さて10月度はファンド最大のイベント、ジャガイモ・カボチャファンドがやってまいりました。この月で、目標に到達できるか否かが決まるといっても過言ではありません。幸い、メンバーの皆様の大変なご協力もあり、昨年並みの実績に到達できそうで胸を撫で下ろしている次第でございます。本当に有難うございました。10月度は、リーダー研修会・ベテスダの家とイベントが目白押しでございます。お忙しいとは思いますが、当日10月15日(日)の荷受作業のお手伝いも何卒宜しくお願いいたします。

今期も始まったばかりでございます。これからも物販・イベント・飲み会等いろいろ企画を考えておりますが、皆様に納得いただいてファンドしていただきたいと思っております。「こんなんやったらどう?」「こんな商品あるんやけど?」など是非気軽に声を掛けていただきたいと思っております。

今後とも皆様のご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。

西日本区 10月 BF 強調月間

使用済み切手の整理作業をしながら、ワイズが国際舞台に活動の場があることを実感しましょう。そしてワイズの心が大きく繋がりますように。

横田恵子ファンド事業主任

9 月 報 告	 会員出席	 即ポイント	 ニコニコ	 ファンド	 献血	 125周年
	在籍者数 28名	切手 0g	第一例会 0円	20,475円	献 血 0cc	第一例会 0円
	第一例会 25名	現金 0円	第二例会 7,000円		成 分 0名	第二例会 3,333円
	メネット 6名	累計切手 0g	累 計 45,000円	累 計 42,975円	累 計 0cc	累 計 80,850円
	第二例会 28名	累計現金 0円			成分累計 0名	
ゲスト 3名	J W F 0円					
出席率 100%	JWF累計 0円					
	F F累計 0円					

出席第一・時間厳守・寝睡・華生・古切手収集

9月第一例会

2006年9月10日(日)
於 琵琶湖ホテル

京都部部会初参加

— 第一例会振替え —

豊田 貴忠

あいにくのお天気の中、浜大津駅を降りると他クラブの方が大勢いらっしやいました。

初めての京都部会で会場に入ると早速式典が始まりました。

第一部の式典の後、乾杯まで我慢できずに喫茶ルームで一杯。びわこを眺めながらメン

バーの皆さんとの一杯は最高でした。

第二部の懇親会は終始和やかな雰囲気の中、進行了ました。オープニングのハーモニカも彩をそえました。

他クラブのメンバーとの交流もでき、キャピタルの良さを改めて実感した一日でした。



カッコいい! 大門会長



石倉地域奉仕事業主任



柳ファンド主査

9月第二例会

2006年9月19日(火)
於 ウェスティン都ホテル京都

京都の歳時記をたどっての熱演

勝山廣一郎

初秋の風も爽やかな季節、大門会長の開会点鐘で例会が始まりました。

ワイズソング斉唱、ゲストの亀井さん(京都ウイング)紹介、メンバ-ゲスト紹介、幡南 進さん(香山さん紹介)、立石 剛さん(大門さん紹介) が出席。会長挨拶は、今夏、甲子園を沸かした高校野球、決勝戦再試合、北海道駒大苫小牧高校(田中翔太投手)と東京早稲田実業高校(斉藤祐樹投手)に対して、これからの活躍を期待されエールをおくられていました。



岩上 力様

委員会報告のあと、神時清一京都YMCA 総主事の食前感謝、会食...

本日のメインゲスト儀式作法研究会代表岩上 力様による、「京都検定について」の講演。まず、開口一番、観光の言葉の意味から説明された。「観」とは、見た目で感じられる様子、名所など見物すること。「光」とは、見るに値する景色に始まり、京都における一年の行事、歳時記の解説となりました。

一月 元三日と言う。正月三が日は鯛の尾頭付きを出す食べない風習がある。その鯛をにらみ鯛と言う。

二月 節分。冬至と春分の中間の日、立春。その前日が節分。稲荷神社の初午祭。

三月 京都では御所に向って右が左と言ひ、上席とされたことから、雛の節句の飾りは古式によると、右が親王、左が雌雛であり、京都御所の紫宸殿に植えてある右近の橘、左近の桜が有名。他にも左が右大臣、右が左大臣、京都市内の行政区も左が右京区、右が左京区となっている。

四月 十三まいりは嵐山の法輪寺。虚空蔵菩薩が祭られ、知恵、福德、技芸上達の寺として有名。渡月橋を渡りおえるまで、願いごと成就のために後ろを振り返らないという習わしがある。

五月 葵祭り(京都三大祭の一つ)。牛車(御所車)、勅使、供奉者の衣冠、牛馬にいたるまで葵の葉で飾る。

別名、加茂の祭り、とも言う。行列は御所を出発し下鴨神社、上賀茂神社まで巡行する。又、端午の節句は武者人形を飾り、藤森神社の祭り、菖蒲の節句とも言われている。

六月 水無月、白い外郎(うしろ)は米粉の生地以小豆をのせた三角形の菓子。三角形は暑気を払う氷をかたどったもの。

京都北山に「氷室」の場所が今もある。当時は氷室の氷は貴重なので、氷をかたどった菓子が作られた。

七月 祇園祭り(京都三大祭の一つ)。又、「鱧祭り」とも言う。祭事が一カ月にわたる(7月1日~7月31日)。約1100年前、疫病退散を祈願して、当時の日本全国の国の数として銚66本を作り、その崇りを治めるために祇園御霊会を行ったのが始まり。八坂神社の紋に似ているので、きゅうりを食べない。

八月 お盆、先祖や亡くなった人たちの精霊が灯りを頼りに帰ってくるといわれている。

十三日の夕刻、仏壇や精霊棚の前に盆提灯や盆灯籠を灯し、庭先や門口で「迎え火」として麻幹(おがら)を焚く。十四日、十五日は家にとどまり、十六日の夜、家を去り帰ってゆく。「送り火」をたき、帰り道を照らして、霊を送り出す。これを、「送り火」と言う。五山の山々に灯る送り火の一つで「大文字の送り火」として有名。

九月 菊の節句、中秋とは、旧暦の秋の真ん中の時期をさす。昔は、旧暦7・8・9月(現在の暦の8・9・10月頃)を「秋」としていた。彼岸とは、煩惱や迷いの多いこの世(こちら側の岸...此岸)に対して悟りの世界(あちらの岸...彼岸)の事。

十月 時代祭り。平安神宮の創建と平安遷都1100年祭を奉祝する行事として、明治28年に始まる。明治維新によって著しい衰退を見せた京都の町おこし事業。

「琵琶湖疎水」は京都にとって琵琶湖の水をひくことが昔からの夢だった。第三代北垣国道京都府知事は明治維新による東京遷都で沈みきった京都に活力を呼び戻すため、卒業論文に琵琶湖疎水建設をテーマにして、東京大学を卒業した青年田邊朔郎を土木技師に採用、明治28年に完成。疎水の水力で発電し新しい工場が生まれ、路面電車が走り、映画館も建設され、活力を取り戻した。

十一月 南座のまねき。役者の名前を桧の板に隅々まで太字で書くのは、観客が大入りになるようにとの意味がこめられている。板の上部には「いおり屋根」入りの字をもじって作成されている。

十二月 事初め。祇園の舞妓さんが「おめでとうさんどす」と芸妓の家元に挨拶に行く。元々はこの一年、喪中でなかったことを言う。又、正月の準備をする。

以上、本来、何日間も受講しなければならない所を限られた時間の講演でした。続いて、にこにこタイム、YMCAの歌、会長の閉会点鐘にて終了。



人生の名シーン

棺を覆う時

岡本 尚男

1938年頃、生後一年と思われる時に撮影された素裸の私の写真がある。いわば轆轤に乗せられた「粘土」のようなものである。父母の夢と期待を一身に集めて、私の人生は始まった。それから70年が経とうとしているいま、当時の「粘土」はどのように形作られているのだろうか。轆轤を回す、見えない方が思っている作品として完成するのは、棺を覆う時だろうと思う。そして、その時と場所とそれ迄の人生が、その場に生きておられる人達から「名シーン」と思われたいし、轆轤を回された方から「誠実に、一生懸命に生きぬいた」と言われたいものである。

私の人生の名シーン？

山田 英樹

私の42年間に、名シーンがあったのでしょうか？ あらためて問いかけてみますと『うーん』と唸り込んでしまいます。以前にブリテンに寄稿しました"病"の話にしましても、半分までで見事お蔵入りとなってしまった"私の職業紹介"のコーナー(無論、そのような名前ではありませんでしたが...)での兄弟での家業復活劇にしましても、決して名シーンとは言えない、むしろネガティブな要素の強い思い出でありますし...

今日に至る15年間ほどの月日は確かにある意味波乱万丈的ではあるのですが、『人生全て之冒険なり』by やまだ を標榜致します私としましては、たった今も現在進行形であると考えておりますので...

大門会長のようにあきらかに名シーンと呼べるものも無く、考えれば考えるほど落ち込んできました。本当に罪作りな問題です。それでもやはりワイズメン、書かねばならないワイズメンです。

ブラウン管の中で大門会長がカクテル光線を浴びてスライダーを投じている頃、ほとんど興味の無い学業の傍ら、水商売のアルバイトに精を出す若者がおりました。

生意気盛りの若者はまわりの人々の心配をよそに、なりふり構わずどんどん突っ走っていきました。理解してもらえないことに苛立ち、口から生まれてきたかのような屁理屈を振りかざし、敵か味方かの区別がなくなり、滑稽なぐらいついていた若者でありました。

所詮アルバイトの身であったにもかかわらず『仕事』と呼ぶことにこだわった若者は、やがてそのコミュニティーで頭角をあらわします。それもそのはずです。興味を覚えたことに対しては生来の負けず嫌いな性格により徹底してのめりこむ若者にとってリアルなビジネスの世界はそれはそれは魅力的に写っていたのです。もしかすると勉強が嫌いなその若者ももっともよく学んだ数年間であったのかもかもしれません。

時計の針が20年間分の時を重ね、ついでに20キロの脂肪も重ねた今日この頃、忙しさにかまけてあまり昔の事を振り返る余裕ありません。それでも家族とのふとした瞬間や古くからの友人たちとの語りの中で思い出されるその瞬間は確かなに鮮烈な記憶です。

なにより当時夢想した事を、"三步進んで二歩下がる"状態とはいえ、すこしずつ実現しつつある今この時が充実しているのも当時の"名シーン"のおかげかなと感謝しております。

リトリートセンター

秋の準備ワーク無事に終了

竹田 博和

まだまだ真夏並みの暑さが残る9月3日、リトリートセンターにて秋の準備ワークが行われました。ファミリーコテージからグリーンチャペルにかけてが今回のキャピタルの担当です。

6月下旬に夏の準備ワークで刈ったはずの雑草も随分大きくなっているだろうと思っていたのですが、この場所は木陰になっているためか雑草はあまり目立ちません。これはラッキーと思ったのも束の間、ファミリーコテージから出た廃材がたっぷり。なかなか楽は出来ませんね。それでも人数が多かったおかげで昼食前にはほとんど片づいておりました。

そんな中、一番目を引いたのは内廣メンのお働きだったのでないでしょうか。かなりのご高齢のみならず腰の手術をされているにもかかわらず廃材をブルーシートにくるんで運んでおられる姿には感服いたしました。

最後に山口Yサ委員長、飲み物等の手配御苦労様でした。

草刈り機提供～助かりました。瀬本さん、山田隆之さん、岡嶋さん。

参加者：石村・内廣・岡嶋・勝山・金原・香山・神崎・瀬本・竹田・田中・豊田・森・柳・山口・山田隆之・山田英樹・堀・柳メネット・山田英メネット・ダルマパーラン正子・山口弘子・山口コメット2名、山田英樹コメット2名(メン17名、メネット4名、コメット4名、計25名)



聖句の解説 からし種とはどのようなものでしょうか？ 小さな小さな、吹けば飛んでしまいそうな、粒です。その粒が成長し、木になり、そして空の鳥が巣を作る神の国は、枝を張り鳥さえもが翼を休める安定したイメージを私達に感じさせます。

しかし、もう一つ、私達は、「人がこれを取って庭に蒔くと」という言葉に耳を傾けるべきでしょう。木が生長することに、小さなからし種を「蒔く」働きが私達に求められているのです。

ふれあい広場に参加して

瀬本 純夫

9月24日曜日、心配されていた天気が嘘のような快晴に恵まれ開催することが出来ました。総勢74名の参加者がありました。

万博公園に到着し民族博物館において、皆様の挨拶があり、そのなか晴眼者、障害者がお互い違った感覚の中、お互いが何か得られるものがあるような有意義な一日にしましょうと言う言葉で、それぞれの手引きの者とパートナーさんが一緒に展示場に入っていました。

約200年ほど前の点字、それ以前の浮き出し文字、視覚障害者用のそろばん、浮き出しの地球儀や、溝と点で表現されている京都市内の地形の地図など、それぞれ実際に手で触れることが出来るように展示されていました。百聞は一触に如かず、の言葉を実感しました。

それにしても展示物の多いこと、昼からは皆さん自由散策と言うことでしたが、午後博物館を見て回りましたが、それでも時間が足りないほどでした。一緒に回った方も随分と楽しまれていたようで、少しホッと致しました。今回ふれあい広場に初参加の私もとても意義ある、楽しい一日がもてて喜んでおります。



キャピタル参加者 石村・岡本・岡本メネット・勝山・勝山メネット・金原・香山・大門・田中・竹田・仁科・仁科メネット・橋本・柳・山田英樹・山田メネット・山田コメット2人・ダルマパーラン正子・山口メネット・山口コメット・瀬本、以上22名でした。



HAPPY BIRTHDAY

メンバー

田中 雅博 10.13 内廣 健 10.19

メネット

岡本 都 10.17 大門 洋子 10.17

石倉 博子 10.19

HAPPY ANNIVERSARY

山口 雅也・重子 ご夫妻 10.3

石倉 尚・博子 ご夫妻 10.12

神崎 清一・陽子 ご夫妻 10.30

10月・11月予定抄

10月8日(日) YMCA リーダー研修会 花背山の家

10月9日(月) ベテスタまつり

10月15日(日) じゃがいもファンド リサーチパーク

10月29日(日) びわこ部会 彦根プリンスホテル

11月10日(金) ピースリーダーシップ 六甲山 YMCA

第7回 役員会議事録

2006年9月26日(火)19:00~21:00
ウエスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

西日本区

- 第11回びわこ部会 日時 2006年10月29日(日)
場所 彦根プリンスホテル
登録費 10,000円(メン、メネット共)

- BF代表応募について 締め切り 11月15日(水)
- 第10回西日本区大会「あなたの「ねがい」を書いて」提出!
- 中西部合同新年会 2007年1月6日(土)土佐堀 YMCA

京都部

- 次々期京都部部長 立候補告示 9月30日まで
- ファンド事業アンケートのお願い 会長より回答済 9/21
- HPアンケートのお願いと懇親会のご案内
日時 10月20日(金)19:00 ¥4,500
場所 木屋町三条上る東側フォーラム木屋町ビル「きらら」

YMCA

- 全国リーダー研修会 10月8日花背山の家インド料理出店
- ピースリーダーシッププログラム 六甲山 YMCA
11月10日(金)16時~12日(日)13時 参加費 15,000円
協賛 西日本区メネット会

三 役

- メンバーゲスト 幡南さん・森さん(入会予定)
立石さん(未定)
- 京都部メネット主査の件 キャピタルからの輩出は困難
新山次期部長に報告
*上記以外の「主査」を再度、依頼される可能性あり
- 次々期会長選考委員会 9月19日
ウエスティン都ホテル京都で開催

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース リーダー研修会 10月8日
- 地域奉仕 ふれあい広場、ベテスタ祭について
- ドライバー 月例会の予定、司会担当、講演者人選など
- 広報ブリテン 10月号 内容報告
- ファンド じゃがいもファンド、お月見団子
- 交流流 東京クラブDBCに関して
- EMC EMC交流会報告、例会出席状況報告など
- メネット 6~9月の活動報告

<審議事項>

- 東京クラブDBCに関して
日程を4月7日に変更する 継続審議
- キャピタルクラブ例会日を変更し
合同例会とする 継続審議

